神戸新聞 2015年05月19日 火曜日 面名 タ一 タ4 1ページ

初夏彩る小さき花

六甲山上 クリンソウ見頃

NEXTに動画

初夏の緑濃い六甲山上の六甲高山植物園（神戸市灘区）で、サクラソウ科の多年草、クリンソウが見頃を迎えている。平年より1週間ほど開花が早く、今月下旬まで楽しめそうだという。

赤紫やピンク、白色の小さな花が、輪状に何段も咲く。その様子が仏塔の装飾「九輪」に似ていることから、クリンソウの名が付いたとされる。同園の湿地には約5千株が群生。訪れたハイカーや観光客らが写真撮影を楽しんでいる。

同園では、ヒマラヤ山脈の奥地に自生するという希少な青いケシ（メコノプシス・ベトニキフォリア）も開花。屋内外合わせて約300株あり、見頃は6月初旬まで続く見込み。

午前10時～午後5時。9月2日まで無休。同園☎078・891・1247

（三浦拓也）

鮮やかに湿地を彩るクリンソウ＝神戸市灘区六甲山町

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① サクラソウ科の多年草、クリンソウが見頃を迎えているのは、どこですか？

② 「クリンソウ」の名が付いた理由が書かれているところに赤線を引きましょう。

③ この植物園の湿地には、およそ何株が群生していますか。

約　　株

④ この記事を読んだ感想を書きましょう。

学びポイント

・神戸新聞NEXTに動画が掲載されています。ぜひ見てみましょう。

NIEワークシート／小学校高学年～中学生／理科、総合